

【NEWS RELEASE】

2021年7月30日

各位

株式会社三井住友銀行

ナカリ株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ナカリ株式会社（代表取締役社長：中村 信一郎）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ナカリ株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 精米業における副産物の有効利用や小粒米の販売等を通じた持続的な農業への取組

目標 2 飢餓をゼロに	2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水およびその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場および高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民および漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性および所得を倍増させる。


② 持続的な経営に向けた事業の多角化、地元農業高校との連携や働き方「開拓」を通じた社内外のファンづくり


目標 7 エネルギーをみんなに そしてグリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標 4 質の高い教育を みんなに	4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育および持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和および非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする。

<p>目標 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8.5 2030 年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。</p>
---------------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。

	<p>「ナカリのSDGsへの取り組み」は外務省にその活動内容と実績を認められ、「JAPAN SDGs Action Platform」の取組事例として紹介されています。</p>	
---	--	---

	<p>宮城県加美農業高等学校は、宮城県内の高校としては初の「JGAP(穀物)」認証を取得。JGAPとは、第三者機関による「食品安全」「環境保全」等の項目での審査が行われた上で、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証。</p> <p>宮城県加美農業高等学校では、2020年10月25日、10月31日、11月1日の3日間、JGAP認証米を宮城県大崎市管内の道の駅3か所にて販売を行った。</p> <p>ナカリ株式会社においては、パートナーシップで地域の役に立てばという想いで、その製造工程での協賛を行った。</p>
--	--

	<p>2021年1月28日、ナカリ株式会社では77社会貢献私募債(寄付型)を発行。</p> <p>77社会貢献私募債(寄付型)は、七十七銀行が発行企業から受け取る手数料の一部で、地域の教育機関や老人介護保健施設等に必要な物品を寄贈するもの。</p> <p>ナカリ株式会社においても、今回の発行を通じ、宮城県加美農業高等学校へ葉緑素計、椅子の寄贈、宮城県中新田高等学校へ妊婦ジャケットの寄贈を行い、パートナーシップの中で地域貢献及び地域創生に取り組んだ。</p>
---	--

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。